高知新聞（平成26年7月8日（火曜日））　（第３種郵便物認可）

日曜市で地元野菜などを販売する「土佐マルシェ」（土佐市高岡町甲）

土佐市日曜市に「マルシェ」

野菜ソムリエら出店

若者誘客へ品ぞろえ工夫

【土佐】土佐市の中心商店街で毎週開かれている日曜市を盛り上げるため、市内の野菜ソムリエらが毎月第1週に「土佐マルシェ」と銘打って出店している。対面販売で地元野菜の魅力を伝えるとともに、コーヒーやケーキの店にも呼び掛けて、若者層を意識した品ぞろえとした。新たな客層の呼び込みへ熱の入った活動を始めている。（五十嵐隆浩）

同市の「野菜ソムリエの協力を得て、香り高いコミュニティ土佐」（井上恵子会長）のメンバー6人が市内産野菜のPRと日曜市の活性化も視野に検討し、6月から出店。色とりどりの地元野菜には「万願寺トウガラシとナスのみそ炒め」ないどのレシピも添え、好評だった。

日曜市は商店街振興を目的に1971年にスタート。市産業経済課などによると、89年ごろには約60店舗を数えたが、高齢化や後継者不足などで今年3月には22店舗にまで減少している。出店者による「土佐市街路市販売組合」の島崎佳子組合長(67)は、「協力してくれて活気が出る」と土佐マルシェの取り組みを喜ぶ。

グループは今後、加工品の試験販売なども検討。リーダーの片山美穂さん(48)＝同市高岡町乙＝は「若い人も気軽に買い物を楽しんでもらえたら。日曜市に人を呼び込んで、商店街やドラゴン広場も盛り上げていきたい」と話している。